

横須賀市自然・人文博物館付属

馬堀自然教育園／天神島臨海自然教育園・天神島ビジターセンター

しぜんきょうういくえん

自然教育園だより

Vol.3 No.1

(2010年春号)

2010年3月25日発行

横須賀市自然・人文博物館

046-824-3688

▶ 自然教育園での出来事 (2009年12月～2010年2月) ◀

馬堀自然教育園

1月30日、馬堀自然教育園では、下の池（右の図を参照）にたまった泥を除去する作業（しゅんせつ作業）をしました。それにさきがけ、1月26日、下の池の水抜きを行い、水位が低くなった池に入り、網ですくい出している生物をすくい出しました。



下の池の生物のすくい出し作業 (1/26)

その結果、メダカやエビ・カニの仲間が見つかりました（右の写真を参照）。このうち、ヌマエビは、馬堀自然教育園では今回初めて確認されました。



学習棟内への避難の様子 (1/27)



ヒラテテナガエビ



ヤマトヌマエビ



メダカ



モクズガニ



ヌマエビ

下の池から見つかった生き物たち

一時的に捕獲したメダカは243匹に上り、上の写真のエビ・カニとともに、しゅんせつ作業の間、学習棟に設置した大きな容器に避難させました。また、捕獲作業では多くのアメリカザリガニが出ました。

しゅんせつ作業後の2月4日には、生き物たちを再び下の池に戻しました。



水抜きが終わり泥が現れた下の池 (1/27)

12月4日 カワセミのメスがエサをとっていた (a)。マンリョウやフウトウカズラの実が赤く熟していた。

12月5日 下の池にコサギが来ていた (a)。水路の近くでヒナカマキリを見つけた (b)。

12月8日 テイカズラの種子が落ちていた。

12月13日 ヤブツバキが咲いていた。シロハラを見た。

12月18日 低木の枝にルリビタキがいた。高い木の梢にツグミが2羽いた。

12月20日 ヒヨドリがヤツデの未熟な実を食べていた。

下の池でアカハラを見た。

1月12日 アオキの実が赤く色づいていた。エノキの倒木



からエノキダケやアラゲキクラゲが出ていた (e)。

1月16日 エナガの群れが梢を渡っていた (c)。

1月22日 朝、上の池にアオサギが来た (c)。

1月23日 カワセミが下の池でエサをとっていた。ヒヨドリ、メジロ、シジュウカラも来ていた。 (a)

1月24日 ウメの花が咲き始めた。 (a)

2月6日 水路内でカワトンボの幼虫を確認した (b)。

2月9日 ウメの花が満開。アオゲラが鳴いていた。

2月14日 ウグイスカグラの花が咲いていた。

2月16日 トウキョウサンショウウオの卵のうを5対確認 (2月末までに約30対を確認した)。下の池にカワセミ、コゲラ、シジュウカラ、メジロが来ていた。

エノキダケ (12/1)

2月20日 イモリがトウキョウサンショウウオの卵のうに食いついていた (c)。

2月26日 ヤマネコノメソウやヒメウズが咲いていた。カ

ワセミが2羽 (オスとメス) 下の池に来ていた (3ページの写真)。水路の近くにシロハラがいた。

2月28日 シュンランが咲き始めた。フキのとうが出た。

天神島臨海自然教育園 天神島で津波を観測！

2月28日の午後、天神島で津波が観測されました。この津波は2月27日に南米チリで発生した大きな地震によって発生したものです。

津波は地震によって生じた海底の岩盤のズレによって発生します。日本時間2月27日の午後3時34分ごろ、チリ中部沿岸でマグニチュード8.8の地震が発生しました。この地震で津波が発生、気象庁は28日午前に三浦半島沿岸に津波警報を発表し、午後2時ごろに2メートルの津波が予想されました。このため、28日は天神島自然教育園が閉園となりました。

潮位の変化は予想より遅れ、午後2時30分ごろから観測されました (写真1)。ゆっくりと海面が上がる様子がみられ、午後3時ごろには最 [ア]

写真2 14時56分



写真1 14時27分



写真3 15時29分



写真4 16時03分



津波による潮位の変化。下の地図のfの入江をビジターセンターから撮影。時間を追って (左下から右上に向かって) 潮位が大きく変化しているのがわかる。

も海面が高くなりました (写真2)。その後一旦潮位が下がり、午後3時30分ごろには岩場が広く露出しました (写真3)。潮位は再び上昇し、午後4時ごろには午後3時ごろとほぼ同じ潮位となりました (写真4)。潮位の変化は20cm程度だったと推定されます。この日の満潮が午後4時37分であったためか、午後4時30分までに潮位が低下することはありませんでした。

これら2回の潮位の変化は津波によるもので、それぞれ第一波、第二波と考えられます。津波では最初に潮位が下がること (引き波) もありますが、今回は最初から潮位が上昇しました (押し波)。また、津波の周期 (第一波と第二波の間の時間) は約1時間でした。幸いにも予想よりも小さな津波で、天神島では津波による被害はありませんでした。

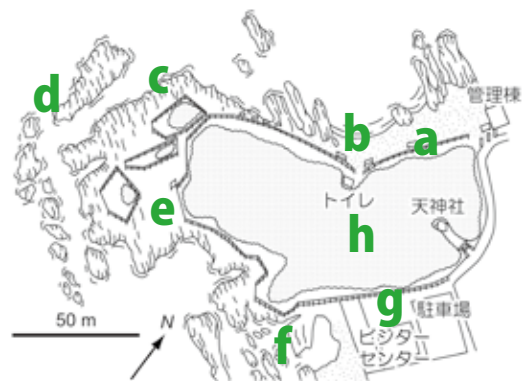
コラム：津波の速さ

津波の伝わる速さ (v) は右の式で決まります。

$$v = \sqrt{gh}$$

ここで g は重力加速度、h は水深です。重力加速度を 9.8 m/s²、水深を深海底の平均的な水深である 4,000m とすると、津波の速さは時速 700 km となります。日本とチリとの間の距離はおよそ 1万7,000km ですので、今回の津波が約 24 時間かかって日本に到達したことがうまく説明できます。

浅い海では津波の伝わる速度が遅くなり、津波が高くなります。さらに津波は繰り返し何度もやってくるため、津波警報や津波注意報が発表されているときには決して海岸に近づいてはいけません。(柴田 記)



天神島臨海自然教育園およびビジターセンター

12月3日 アカハラを今年度初めて確認した (h)。

12月5日 磯で餌探しをしているタヒバリをこの冬初めて確認した (c)。ハシボソガラスとハシブトガラス、シジュウカラとメジロがそれぞれ激しく争っていた。

12月11日 マテバシイの葉裏で越冬中のオオキンカメモシ 2 匹を確認した (h)。

12月13日 日没後にタヌキが歩いていた (b)。

12月18日 ウミアイサ 1 羽とクロサギ 2 羽が飛来していた (d)。

ウミアイサ (12/18)



12月27日 キビナゴの大群が浅瀬に入ってきた。それを狙って 500 羽以上のウミネコ、オオセグロカモメなどのカモメ類と 500 羽以上のカワウとウミウ、さらにアオサギ、ダイサギなどのサギ類やトビが集まった (b)。

1月7日 スイセンが開花していた。

1月9日 学習室に越冬中のヤモリがいた。ヒメアマツバメが飛んでいた (h)。

1月10日 500 羽を超えるカワウの群れが上空を通過した。

1月24日 沖合いの杭の上でミサゴが魚を食べていた。

1月30日 カラマツガイが産卵していた。30cm近い大きさのアメフラシが交接していた。(c)

1月31日 磯でカワセミが餌を探していた(f)。

2月5日 ドーナツ型をしたミルの仲間が打ち上がった(e)。カワラヒワが水を飲んでいて(g)。

2月14日 沖合からウミアイサ8羽が飛来した。

2月20日 岩場でミスガイ、セトミドリガイ、アズキウミ



ドーナツ型をしたミル類(2/5)

ミスガイ(2/20)

ウシがいた。トビイトギンボがヒジキにからんでいた(c)。

2月21日 ワシカモメが笠島に降りた。森でヒヨドリがカタツムリの仲間を食べていた。ハマオモトヨトウの幼虫を見つけた。ウグイスがさえずり始めた。

2月25日 クロサギ2羽が飛来していた。ハマダイコンが咲いていた(a)。キチョウが飛んでいた。体長30cmを

超えるクロダイが浅瀬で餌を探していた。

2月26日 春一番が吹き、ミズクラゲが大量に打ち上がった。夏羽に換羽中のカンムリカイツブリが探餌していた。(f)



▶ 展示関連コラム ◀

平成21年度の企画展示として「博物館資料とバードカービング」(以下、企画展)を開催しています。この展示では博物館に収蔵された鳥類のはく製標本とバードカービング(木材を使った写実的な鳥の彫刻)130点以上を紹介しています。しかし、博物館で鳥が見られるのは展示だけに限りません。天神島・馬堀の両自然教育園では、年間を通してさまざまな生きた野鳥を見ることができます。

企画展で紹介した鳥のうち、馬堀で

自然教育園で見られる鳥

はエナガ、オオルリ、アオゲラ、アカゲラ、キセキレイ、カケスなど、天神島ではウミネコ、チュウシャクシギ、キョウジョシギ、イソシギ、イソヒヨドリ、カワラヒワなどの観察例があるほか、カワセミ、キジバト、コゲラ、ハクセキレイ、モズ、ツグミ、シジュウカラ、メジロなどは、天神島と馬堀のどちらの教育園でも観察例があります。

また、馬堀ではシロハラ、ウソ、シメなど、天神島ではカンムリカイツブ

企画展示「博物館資料とバードカービング」から

り、ウミアイサ、クロサギなど、企画展で紹介されなかった鳥も記録があります。

これらの野鳥には、見られる季節が決まった種類や不定期に訪れる種類もあるので、こまめに足を運ぶことが多くの種類の野鳥を観察する秘訣です。

企画展示「博物館資料とバードカービング」は、木鳥会の共催で博物館本館3階特別展示室で展示されています[2010年4月4日(日)まで]。

(萩原記)



天神島のクロサギ



天神島のチュウシャクシギ



馬堀のカワセミ。メス(左)とオス(右)

▶ 博物館行事レポート ◀

博物館教室「水辺の生き物を育てよう」

(2月6日・参加者9名)

本講座は市民協働によって馬堀自然教育園の水辺の生物の生息環境を整備し、飼育展示している生物の管理を行うものです。12月の講座では受講生に加え、地元の馬堀小学校4年生有志のみなさんにもお手伝いいただき、池に生息する生物の調査と2月から3月にかけてのトウキョウサンショウウオの産卵に備えた上の池の清掃を行ないました。調査の結果、池の

中にはイモリ(アカハライモリ)、ヤブヤンマの幼虫、オオシオカラトンボの幼虫、ミズムシ(甲殻類の一種)、ヒメモノアラガイ、サカマキガイ、カワニナ、カワコザラガイなどの生息が

確認されました。清掃によってくさった落ち葉などが取り除かれ、きれいになった池では2月中旬からトウキョウサンショウウオが産卵をはじめました。(萩原記)



上の池の作業風景



トウキョウサンショウウオの卵のう

▶ 自然教育園イベント紹介 ◀

— 博物館教室 —

1. 森と草原を育てよう

馬堀自然教育園の森林と天神島臨海自然教育園の海岸草原の保全を目的に、草刈りや枝落としなど適切な手入れを行います。2010年4/21、5/19、6/16、7/21、9/15、10/20、11/17、12/15、2011年2/16、3/16(各水)の全10回。9:30-12:00。馬堀自然教育園および天神島臨海自然教育園。対象は一般10名。締切:4/7(水)。

2. 水辺の生き物を育てよう

メダカ、トウキョウサンショウウオ、イモリなどの水辺の生き物たちが生息する環境の保全・再生活動を行います。2010年5/1、6/5、7/3、10/2、11/6、12/4、2011年2/5、3/5(各土)の全8回。10:00-12:00。馬堀自然教育園。対象は小学生以上10名(ただし、小学生は保護者同伴のこと)。締切:4/17(土)。

3. 植物の観察と分類(初夏の花)

植物のつくりの基本を、初夏に花が咲く身近な植物を材料に観察します。また、三浦半島に見られる科を中心に植物の主な科や属の分類を紹介します。2010年5/8(馬堀自然教育園)、5/22(二子山)(各土)の全2回。10:00-12:00(野外10:00-15:00)。対象は中学生以上20名。野外保険料100円。締切:5/21(金)。

4. 植物の観察と分類(夏の花)

植物のつくりの基本を、夏に花が咲く身近な植物を材料に観察します。また、三浦半島に見られる科を中心に植物の主な科や属の分類を紹介します。2010年6/4(馬堀自然教育園)、6/18(武山)(各金)の全2回。10:00-12:00。対象は中学生以上20名。野外保険料100円。締切:5/21(金)。

5. 昆虫教室 [I・II]

身近な昆虫の採集や観察の方法を楽しく勉強します。[I]2010年5/30、6/20、7/11、8/22(各日)、[II]5/30、6/27、7/18、8/22(各日)のそれぞれ全4回(いずれか一方にのみ応募)。10:00-15:00。本館1階講座室および馬堀自然教育園。対象は小・中学生各20名(ただし、小学生は保護者同伴のこと)。野外保

険料200円。締切:5/16(日)。

— 自然観察会 —

1. 海藻入門講座(協力:東京海洋大学藻類学研究室)

三浦半島の沿岸には多種多様な海藻が生育しています。ふだん目にする事の少ない海の植物に親しみませんか? 2010年5/16(日)10:00-15:00。天神島臨海自然教育園。対象は小学生以上20名(ただし、小学生は保護者同伴のこと)。野外保険料50円。締切:5/2(日)。

2. 馬堀・観音崎の地層(協力:三浦半島活断層調査会)

(地質の日記念事業・『国際博物館の日』記念事業)

馬堀から観音崎までを歩き、地形や地層を観察し、三浦半島の生い立ちについて考えます。2010年5/29(土)10:00-15:00。馬堀、観音崎。対象は小学生以上20名(ただし、小学生は保護者同伴のこと)。野外保険料50円。締切:5/15(土)。

3. ウミウシの観察会

「海の宝石」といわれる貝のなかまウミウシ類を中心に、磯の生き物たちを観察します。2010年6/12(土)10:00-12:00。天神島臨海自然教育園。対象は小学生以上20名(ただし、小学生は保護者同伴のこと)。野外保険料各回50円。締切:5/29(日)。

4. ホタルの観察会 [I・II]

馬堀自然教育園で、20年以上にわたって保護および生息環境の整備に努めているゲンジボタルとヘイケボタルを、生息環境を学びながら観察します。[I]2010年6/19(土)、[II]6/26(土)各18:00-20:00(いずれか一方にのみ応募)。馬堀自然教育園。それぞれ対象は小学生以上60名(ただし、小学生は保護者同伴のこと)。野外保険料50円。締切:6/5(土)。

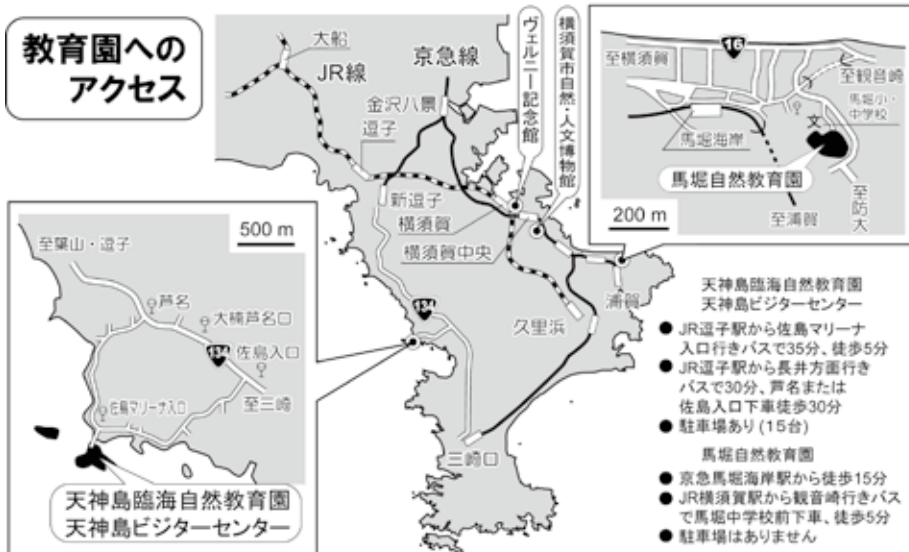
— 天神島めぐり —

対象は小学生以上20名(小学生は保護者同伴のこと)。野外保険料50円。

1. 海岸植物 - 春 -

ハマダイコンやハマエンドウなどの海岸植物やアマモ・タチアマモなどの海草を観察します。2010年4/18(日)10:30~12:00。締切:4/4(日)。

▶ 横須賀市自然・人文博物館 附属自然教育園 ◀



馬堀自然教育園

〒239-0802 横須賀市馬堀町4-10-3
TEL 046-841-5727 (FAX 共用)

神奈川県指定名勝・天然記念物 天神島臨海自然教育園

(ビジターセンター)
〒240-0103 横須賀市佐島3-7-3
TEL 046-856-0717 FAX 046-857-5219

博物館本館

〒238-0016 横須賀市深田台95
TEL 046-824-3688
FAX 046-824-3658

休館・休園日 月曜日・年末年始

開館・開園時間 9:00-17:00

(自然教育園 10~3月は16:30まで)

博物館ホームページでも、「自然教育園だより」をご覧いただけます!

(<http://www.museum.yokosuka.kanagawa.jp/>)